

第 44 回 JAS 製材品普及推進展示会

表 彰 式 ・ 記 念 講 演 会

平成29年 2月 9日(木)

ホテルグランドヒル市ヶ谷 東館3階「瑠璃・西の間」

一般社団法人 全 国 木 材 組 合 連 合 会

一般社団法人 全 日 本 木 材 市 場 連 盟

一般社団法人 全国木材市売買方組合連盟

表 彰 式 次 第

一、開 会

一、挨 拶 一般社団法人 全国木材組合連合会 会長

一、J A S 製材品普及推進展示会審査講評 審査委員長

一、表 彰

農林水産大臣賞

農林水産省食料産業局長賞

林野庁長官賞

優良開催市場への感謝状

特別感謝状

一、祝 辞

林野庁長官

農林水産省食料産業局長

一、謝 辞

一、閉 会

記念講演

演 題 ：『J A S 制度の機能強化と戦略的活用について』

講 師 ：農林水産省 食料産業局 食品製造課

食品規格室 課長補佐 中 熊 靖 氏

第 44 回 JAS 製材品普及推進展示会

表 彰 者 名 簿

農 林 水 産 大 臣 賞	[4 工場]
食 料 産 業 局 長 賞	[12 工場]
林 野 庁 長 官 賞	[16 工場]
優良開催市場への感謝状	[2 社]
特 別 感 謝 状	[1 者]

農 林 水 産 大 臣 賞

県名	受賞工場名	郵便番号	所在地	電話番号	出展市場
岡山県	山下木材株式会社 製材工場	719-3203	岡山県真庭市富尾 218	0867-42-1100	株式会社津山総合木材市場
岡山県	牧野木材工業株式会社 本社工場	719-3205	岡山県真庭市草加部 288 番地8	0867-42-4321	株式会社津山総合木材市場
岐阜県	有限会社倉地製材所 製材工場	509-2506	岐阜県下呂市萩原町 羽根 408 番地	0576-52-1876	株式会社東海木材相互市場
山口県	大林産業株式会社 製材工場	747-0344	山口県山口市徳地八坂 700 番地	0835-56-5005	株式会社 東京中央木材市場

食 料 産 業 局 長 賞

県名	受賞工場名	郵便番号	所在地	電話番号	出展市場
岡山県	院庄林業株式会社 久米工場	709-4612	岡山県津山市くめ字団 地 50-68	0868-57-7111	株式会社津山総合 木材市場
岡山県	河井林産株式会社 製材工場	708-0841	岡山県津山市川崎 249-2	0868-26-1201	株式会社津山総合 木材市場
岐阜県	伊藤林産有限会社 製材工場	508-0421	岐阜県中津川市加子 母 2868-1	0573-79-2201	株式会社東海木材 相互市場
岐阜県	有限会社森製材所 製材工場	501-6318	岐阜県羽島市上中町 沖 1670 番地	058-398-3205	株式会社東海木材 相互市場
秋田県	株式会社沓澤製材所 製材工場	017-0012	秋田県大館市釈迦内 字街道上 154	0186-48-3141	株式会社 東京中央 木材市場
福島県	協和木材株式会社 塙工場	963-5407	福島県東白川郡塙町 大字西河内字鶴巻田 10 番地	0247-43-0272	株式会社 東京中央 木材市場
三重県	株式会社オオコーチ 勢和工場	519-2212	三重県多気郡多気町 色太 950-1	0598-49-3100	丸宇木材市売株式 会社北浜市場
茨城県	中国木材株式会社 鹿島工場	314-0103	茨城県神栖市東深芝2 - 18	0299-91-1351	丸宇木材市売株式 会社北浜市場
三重県	ウッドピア流通検査 協同組合 松阪工場	515-0088	三重県松阪市木の郷 町 7 番地	0598-20-2266	ウッドピア市売協同 組合
熊本県	株式会社佐藤林業 製材工場	861-8012	熊本県熊本市東区平 山町 2986-7	096-380-7060	熊本木材株式会社 八代支店
熊本県	合資会社立山製材所 製材工場	861-0535	熊本県山鹿市南島 937	0968-43-2333	熊本木材株式会社 八代支店
熊本県	有限会社三和物産 製材工場	868-0095	熊本県球磨郡相良村 柳瀬 820-11	0966-24-6002	熊本木材株式会社 八代支店

林 野 庁 長 官 賞

県名	受賞工場名	郵便番号	所在地	電話番号	出展市場
岡山県	小林製材株式会社 本社工場	719-3111	岡山県真庭市開田 341	0867-52-1171	株式会社津山総合木材市場
岡山県	銘建工業株式会社 久世工場	719-3205	岡山県真庭市草加部 1372	0867-42-2204	株式会社津山総合木材市場
岐阜県	東濃ひのき製品流通協同組合 第二工場	509-1113	岐阜県加茂郡白川町三川 1539	0574-72-2577	株式会社東海木材相互市場
愛媛県	八幡浜官材協同組合 製材工場	795-0086	愛媛県大洲市成能字大地原甲 510-5	0893-50-1250	株式会社東海木材相互市場
愛知県	株式会社東海木材相互市場 大口工場	480-0121	愛知県丹羽郡大口町河北 2 丁目 2 番地	0587-95-1101	株式会社東海木材相互市場
岐阜県	飛騨高山森林組合 新宮工場	506-0035	岐阜県高山市新宮町 228 番地 1	0577-37-5018	株式会社東海木材相互市場
三重県	斎藤木材有限会社 製材工場	515-1303	三重県松阪市飯南町下仁柿 551 番地	0598-32-2196	株式会社東海木材相互市場
広島県	宮迫木材株式会社 製材工場	728-0202	広島県三次市布野町下布野 84-2	0824-54-2011	株式会社東海木材相互市場
岐阜県	株式会社丸七ヒダ川ウッド 製材工場	509-0403	岐阜県加茂郡七宗町中麻生 781-3	0574-48-2135	株式会社東海木材相互市場
岐阜県	東白川製材協同組合 製材工場	509-1302	岐阜県加茂郡東白川村神土 2594-1	0574-78-2118	株式会社東海木材相互市場
岐阜県	交告製材株式会社 製材工場	509-0108	岐阜県各務原市須衛町 7 丁目 93-1	0583-84-9328	株式会社東海木材相互市場
和歌山県	株式会社山長商店 内地材工場	646-0011	和歌山県田辺市新庄町 37 7	0739-22-2605	株式会社 東京中央木材市場
秋田県	東北木材株式会社 製材工場	016-0807	秋田県能代市字大森山 1-18	0185-54-1531	丸宇木材市売株式会社北浜市場
埼玉県	金子製材株式会社 製材工場	368-0072	埼玉県秩父郡横瀬町 5859-2	0494-22-6155	丸宇木材市売株式会社北浜市場
大分県	株式会社日田十条 製材工場	877-0061	大分県日田市石井 3-777	0973-22-3791	丸宇木材市売株式会社北浜市場
三重県	グリーンウッドタクミ協同組合 ウッドピア工場	515-0088	三重県松阪市木の郷町 12 番地	0598-20-2233	株式会社東海木材相互市場

優良開催市場への感謝状

県名	受賞工場名	郵便番号	所在地	電話番号	出展市場
愛知県	株式会社東海木材 相互市場 大口市場	480-0121	愛知県丹羽郡 大口町河北 2-2	052-881-1551	株式会社東海木材 相互市場
千葉県	東京中央木材市場株 式会社	279-0032	千葉県浦安市千鳥 13	047-355-0001	東京中央木材市場 株式会社

特別感謝状

県名	受賞者名	郵便番号	所在地	電話番号
岡山県	河崎弥生 (岡山県農林水産総合センター 森林研究所副所長)	717-0013	岡山県真庭市勝山 1884-2 岡山県農林水産総合センター 森林研究所	0867-44-3367

第44回JAS製材品普及推進展示会表彰者 総括表

賞 事 項	(株)津山綜合木材市場		(株)東海木材相互市場		(株)東京中央木材市場		丸宇木材市売(株)北浜市場		ウッドピア市売(協)		熊本木材(株)八代支店	
	県名	工場名	県名	工場名	県名	工場名	県名	工場名	県名	工場名	県名	工場名
農 林 水 産 大 臣	岡山	山下手木材㈱ 製材工場	岐阜	(有)倉地製材所 製材工場	山口	大林産業㈱ 製材工場						
	岡山	牧野木材工業㈱本社工場										
食 料 産 業 局 長	岡山	院庄林業㈱久米工場	岐阜	伊藤林産(有) 製材工場	秋田	㈱沓澤製材所 製材工場	三重	㈱オオコーチ勢和工場	ウツドピア流通検査(協) 松阪工	熊本	㈱佐藤林業 製材工場	
	岡山	河井林産㈱ 製材工場	岐阜	(有)森製材所 製材工場	福島	協和木材㈱ 塙工場	茨城	中国木材㈱ 鹿島工場	三重	熊本	(資)立山製材所 製材工場 熊本(有)三和物産 製材工場	
林 野 庁 長 官	岡山	小林製材(株) 本社工場	岐阜	伊藤林産(有) 製材工場	和歌山	株式会社山長商店 内地材工場	秋田	東北木材㈱ 製材工場	三重	グリーンウッドタタミ(協)ウッドピア工場		
	岡山	銘建工業株式会社 久世工場	愛媛	八幡浜官材協同組合 製材工場			埼玉	金子製材㈱ 製材工場				
			愛知	㈱東海木材相互市場 大口工場			大分	株式会社日田十条 製材工場				
			岐阜	飛騨高山森林組合 新宮工場								
優 良 市 場			三重	斎藤木材(有) 製材工場								
			広島	宮迫木材㈱ 製材工場								
			㈱丸七ヒダ川ウッド 製材工場									
			岐阜	東白川製材(協) 製材工場								
優 良 買 方			岐阜	交吉製材㈱ 製材工場								
優 良 市 場			愛知	株式会社東海木材相互市場 大口市場	千葉	東京中央木材市場株式会社						
特 別 感 謝 状	河 崎 弥 生 (岡山県農林水産総合センター森林研究所副所長)											
(以下の全木連会長賞、全市連会長賞、全買連会長賞、優良買方 の表彰式は、各市場で行われます。)												
全 木 連 会 長	岡山	㈱丸左木材 製材工場	宮崎	外山木材㈱ 今町工場	広島	中国木材㈱ 郷原工場 柴木材株式会社 本社工場 嶺北林材協同組合 製材工場	岩手	(有)菊池製材所 製材工場		熊本	熊本モルター加工事業(協)加工工場 熊本㈱松島木材センター 製材工場	
					富山	高知						
全 市 連 会 長			広島	中国木材株式会社 本社工場	茨城	丸川木材株式会社 製材工場	宮城	㈱佐藤製材所 製材工場		熊本	㈱佐藤製材所 製材工場 熊本株式会社木谷製材所	
			岐阜	桑原木材株式会社 金山工場 越井木材工業株式会社 本社工場 富山ウッドリンク株式会社製材事業部 製材工場								
全 買 連 会 長	岡山	㈱鈴鹿製材所 製材工場	栃木	二宮木材(株) 本社工場	和歌山	株式会社かつら木材商店 第二工場 越井木材工業株式会社 関東第二工場 和歌山株式会社山一木材 桧材工場 宮内林業㈱ 製材工場				大分	(株)ネクスト 本社工場	
	岡山	江与味製材(株) 製材工場			千葉							
優 良 買 方	鳥取	有限会社 高尾材木店	岐阜	株式会社 三和木	埼玉	株式会社 大忠	埼玉	株式会社 大登木材商店	三重	コウヨウ株式会社	熊本	桑原商事株式会社

(参考)

第44回 J A S 製材品普及推進展示会

審査・展示日程表

会 場	審 査 月 日 展 示 月 日	審査・展示会場 (T E L)	郵便番号	所 在 地
岡 山	9 月 7 日(水) 9 月 8 日(木)	(株) 津山総合木材市場 (0868)-28-7777	708-0011	岡山県津山市 上田邑2880
名古屋	9 月 8 日(木) 9 月 9 日(金)	(株) 東海木材相互市場 大口市場 (0587)-95-1101	480-0121	愛知県丹羽郡 大口町河北2-2
千 葉	9 月 2 0 日(木) 9 月 2 1 日(金)	東京中央木材市場 (株) (047)-355-0001	279-0032	千葉県浦安市千鳥13
埼 玉	1 0 月 1 2 日(水) 1 0 月 1 3 日(木)	丸宇木材市売 (株) 北浜市場 (048)-798-0453	339-0025	埼玉県さいたま市 岩槻区釣上新田291
三 重	1 0 月 1 8 日(火) 1 0 月 1 9 日(水)	ウッドピア市売 (協) (0598)-20-2211	515-0088	三重県松阪市 木の郷11
熊 本	1 1 月 4 日(金) 1 1 月 7 日(月)	熊本木材株式会社 八代支店 (0965)-37-1155	866-0034	熊本県八代市 新港町2丁目4-9

第 44 回 JAS 製材品普及推進展示会表彰式 記念講演会

と き 平成 29 年 2 月 9 日 (木)

ところ ホテルグランドヒル市ヶ谷

東館 3 階「瑠璃・西の間」

演 題：『JAS 制度の機能強化と
戦略的活用について』

講 師：農林水産省 食料産業局 食品製造課
食品規格室 課長補佐 中 熊 靖 氏

一般社団法人 全 国 木 材 組 合 連 合 会

一般社団法人 全 日 本 木 材 市 場 連 盟

一般社団法人 全国木材市売買方組合連盟

農林水産省 食料産業局 食品製造課

食品規格室 林産物規格班担当課長補佐 中熊 靖 氏

略歴

平成 7 年 農林水産省林野庁 入省

平成 26 年 4 月 農林水産省 食料産業局 食品製造課

食品規格室 林産物規格班担当課長補佐

現在に至る

〔連絡先〕

農林水産省 食料産業局 食品製造課

〒 100-8950 東京都千代田区霞が関 1-2-1

TEL 03-6744-2096 FAX 03-6744-0569

URL <http://www.maff.go.jp/j/shokusan/index.html>

J A S 制度の機能強化と戦略的活用について (J A S 制度の見直し方向)

農林水産省
食料産業局

1 - 1 輸出力強化における規格・認証の機能の活用

農林水産省
食料産業局

- 国内の食市場が縮小する中で、輸出は農林水産物・食品の販路拡大につながる重要な手段。
- 海外市場では、食文化や商慣行が国や地域によって異なる中、取引上必要な情報や信頼は、規格・認証により担保。
- 輸出力の強化に当たっては、国際取引で広く活用されている規格・認証を活用し、海外の取引先等に訴求していくことが重要かつ有効。

規格・認証の機能

規 格

- 産品の原材料や製法、事業者・産地の技術や取組などの**情報を取りまとめ、見える化**したもの
※アピールしたいポイントを規格にすることも可能
- 規格の活用により、知らない相手に対する**説明や証明が容易になり、取引が円滑に**

認 証

- 規格に合っていることを第三者が保証することにより、**信頼性が向上**

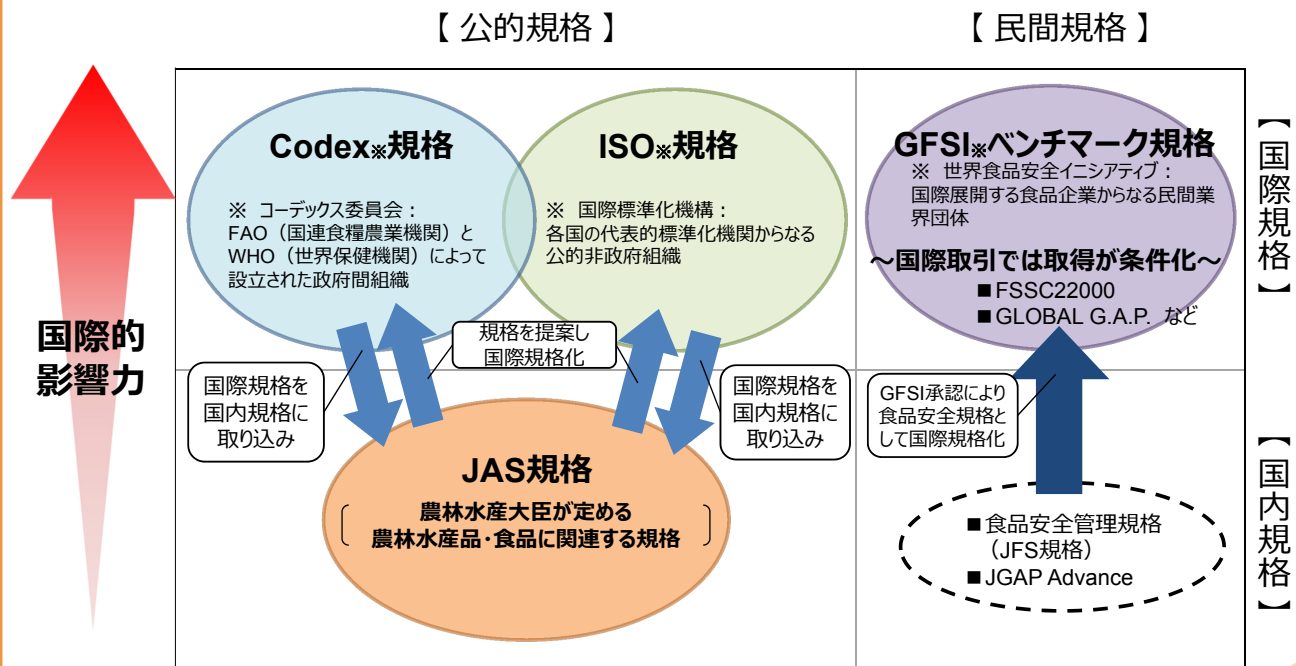
取引における活用

- 海外市場では、**価値観、文化、商慣行が異なる者同士が取引を円滑に行える**よう、規格・認証を活用して取引上必要な情報や信頼を担保。
 - ✓ 海外で知られていない食品の説明の後ろ盾として規格を用い、信頼を得やすく
- さらに、**規格・認証を戦略的に活用**し、優位性をアピール。
 - ✓ 自らの優れたアピールポイントを見える化し、類似品・競合品と差別化
 - ✓ ステークホルダーが他に現れる前に、自らに有利な国際規格の制定を主導

1-2 JAS規格を足掛かりとする国際規格化の推進

農林水産省
食料産業局

- 国内の規格が国際規格化すれば、その内容は各国共通のものとして確立し、自国に有利な競争環境の整備に直結。
- 国際規格化を見据えてJAS規格を制定し、これを足掛かりとする国際規格の制定を戦略的に推進していくことが重要。



Copyright 2016 Food Industry Affairs Bureau. Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

2

1-3 JAS制度の見直しについての政策的位置付け

農林水産省
食料産業局

- こうした中、日本再興戦略2016（平成28年6月2日閣議決定）等において、規格・認証の枠組であるJASを活用した日本製品の品質や特色を担保する制度の検討を位置付け。
- 今般、農林水産業・地域の活力創造プランにおいて、JAS法に基づくこれまでの制度のあり方を見直し、関係法案の次期通常国会提出を検討する旨が位置付けられたところ。

農林水産業・地域の活力創造プラン

（平成28年11月29日農林水産業・地域の活力創造本部決定）

農業競争力強化プログラム

- 4 戦略的輸出体制の整備
2. 輸出拡大を更に促進するための具体的な取組
- (3) 規格・認証や知的財産制度の活用促進と規制の緩和・撤廃
 - ・ 日本製品の品質や特色のアピールにつなげるため、国際標準化を見据えたJAS規格、日本発の食品安全管理規格等の充実・普及、地理的表示、品種登録の活用やこれらを含む知的財産の保護を図る。
 - ・ この一環として、JAS法に基づく制度のあり方を見直し、生産行程や生産・流通管理の方法等といった多様な規格の制定、国際的に通用する認証や表示により、海外事業者への訴求に向けて戦略的にJASを活用する。

農林水産物輸出インフラ整備プログラム

- Ⅲ. 当面の具体的整備案件
 2. 輸出サポート体制等の整備（ソフト面のインフラ整備）
 - (2) 制度・手続面の整備・改善
 - ① 規格・認証や知的財産に関する制度の活用促進と規制の緩和・撤廃
- ◎ JAS法に基づくこれまでの制度のあり方を見直すこととし、関係法案の次期通常国会提出を検討する。

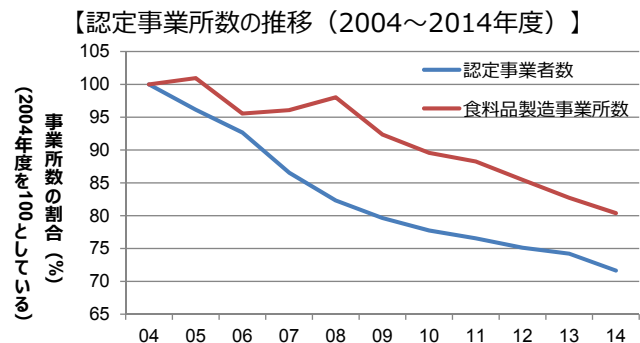
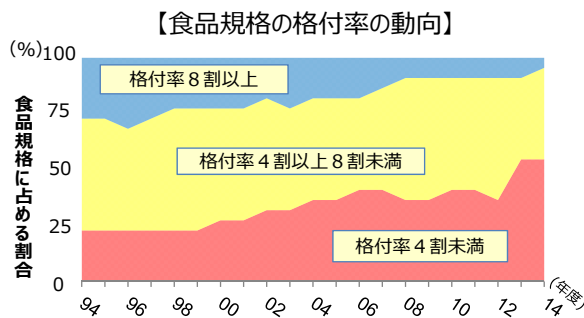
Copyright 2016 Food Industry Affairs Bureau. Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

3

1-4 現行JAS制度をめぐる課題

農林水産省
食料産業局

- 一方、現行のJAS制度をめぐるのは、認定事業者の減少、格付率の低下が見られるところ。
- こうした現状に対し、認定事業者からも、JAS制度のあり方に課題があるとの声。
- JAS制度のあり方の見直しに当たっては、JAS制度が事業者の競争力強化と消費者の選択のツールとして機能が発揮されるよう検討。



【認定事業者の認識】

「食料品の海外展開とJASの現状等に関するアンケート*」によれば、飲食料品の認定事業者の9割以上が、JASについて何らかの課題があると考えているという結果。

(* 実施期間：平成28年5月26日～6月11日、回答数：606)

【主な課題】

- ✓ 品質以外の基準が消費者に重視されてきている。
- ✓ JAS規格、JASマークの内容が消費者に理解されていない。
- ✓ 食品が多様化し、JAS規格が追いついていない。生産者の差別化ニーズを反映できていない。
- ✓ 業界全体の品質の向上、消費者目線の厳しさから、「一定以上の品質であることは当然」との認識が浸透している。
- ✓ 認定取得・認定維持の負担が大きい。

①規格の対象や内容の充実、②JAS認証やJASマークの訴求力の向上が必要。

Copyright 2016 Food Industry Affairs Bureau. Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

4

2 JAS制度の機能強化と戦略的活用の方

農林水産省
食料産業局

- JAS制度を見直し、規格の対象や内容の充実と認証の訴求力の向上に向けた枠組を整備。
- さらに、規格・認証を戦略的に制定・活用し得るよう、人材の育成などを進め、規格・認証への対応力を強化。
- これらを足掛かりとして国際規格化につなげ、我が国の競争力を強化。

(1) 強みのアピールにつながるJAS規格の制定

- ① 規格の対象を、**製品の生産方法、事業者の運営・管理の方式、測定・分析方法等**にも拡大。

✓生産方法に関する規格例

我が国特有の製法を規格化 → 「本物」であることを証明

✓事業者の管理方式の規格例

定温保管・輸送方式を規格化し、その能力を有する事業者を認証 → 認証事業者が取り扱う質の高い生鮮品を「鮮度抜群」とアピール可能

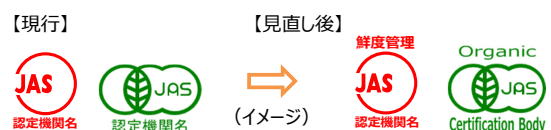
✓測定・分析方法に関する規格例

我が国の優れた製品の測定・分析方法を規格化 → 優位性を科学的に証明

- ② JAS規格を関係者から提案しやすい枠組を整備。

(2) アピールにつながるJAS認証と分かりやすいJASマーク

- ① 産品や事業者がJAS規格に適合していることを**国際的に通用する手続により認証**。
- ② **認証内容が分かりやすいマーク**とするとともに、海外における商標登録によりマークを保護。



(3) JAS規格制定と国際規格化への対応力強化

- 規格・認証に対する**理解と活用機運を醸成**。
- 戦略的対応に向けた**人材育成とサポート体制を充実**。

Copyright 2016 Food Industry Affairs Bureau. Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

5

3-1 強みのアピールにつながるJAS規格の制定

農林水産省
食料産業局

- 強みのアピールにつながる多様な規格を戦略的に制定・活用できるよう、①定め得る規格の対象範囲を拡大するとともに、②関係者の発意によるJAS規格化を推進。

(1) JAS規格の対象範囲の拡大

- JAS規格の対象範囲を、①現行の製品の品質だけでなく、②製品の生産方法、③事業者の運営・管理の方式、④製品の測定・分析方法等にも拡大。
- これにより、品質が出荷後に変化する場合、品質以外の特長がある場合、ノウハウなど産地や企業の秘伝・秘密をオープンにしたくない場合等においても規格を活用したアピールが可能に。
- 我が国の強みのアピールにつながる規格を定め、これを足掛かりとする国際規格化を指向するとともに、海外で通用する国際規格をJAS規格化し、海外市場で売れる製品の生産を促進。これに併せて、JAS規格の番号や様式についても、国際規格との整合化を順次実施。

(2) 関係者の発意によるJAS規格の制定の推進

- 強みのアピールにつながるJAS規格の制定・改廃には、現場の事業者・団体、都道府県等からの発意・発案の促進が重要。
- 申出に当たり、完全にセットされた制定案の提出を求める現行の枠組を見直し、より容易に原案の申出が可能となる枠組を整備。農林水産省の各担当課とJAS担当がサポート。

Copyright 2016 Food Industry Affairs Bureau. Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

6

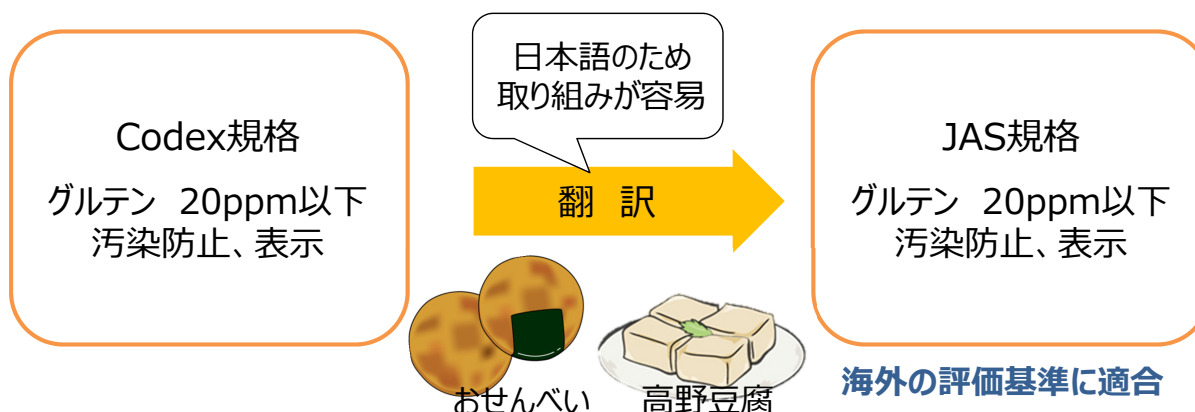
3-2 強みのアピールにつながるアイデア①（品質）

農林水産省
食料産業局

- 商品のこだわりの**品質**を効果的に伝えるため、JAS規格を利用可能。
- 特定の原材料の使用・不使用を内容として標準品との差別化も可能。
- 第三者認証を組み入れ、活用の幅を拡大。

●グルテンフリーの食品であることをアピールしたい場合

- 海外を中心にグルテンフリー食品が人気。
- グルテンフリー食品の国際規格（Codex規格）をJAS規格化し、認証。
海外市場における評価に直結。



Copyright 2016 Food Industry Affairs Bureau. Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

3-3 強みのアピールにつなげるアイデア②（生産方法）

農林水産省
食料産業局

- こだわりの**作り方**、保存の**仕方**などを、JAS規格とすることを可能に。
- 商品の品質を規格にするだけでは表現しきれない特長をアピール可能。
- 出荷後に品質の変化する商品であっても、特長を効果的に表現。

●伝統的な抹茶をアピールしたい場合



特有の製法
を規格化



「本物」を類似
品と差別化



通常的茶葉を
粉末にしたもの

●日本固有の食品「納豆」をアピールしたい場合

大豆発酵食品群

製法をJAS化



納豆



臭豆腐



テンペ



大豆発酵食品のCodex規格

「納豆」規格



「納豆」として固有
の位置づけを確立

我が国の食文化の保護、承継や普及にも寄与

Copyright 2016 Food Industry Affairs Bureau. Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

8

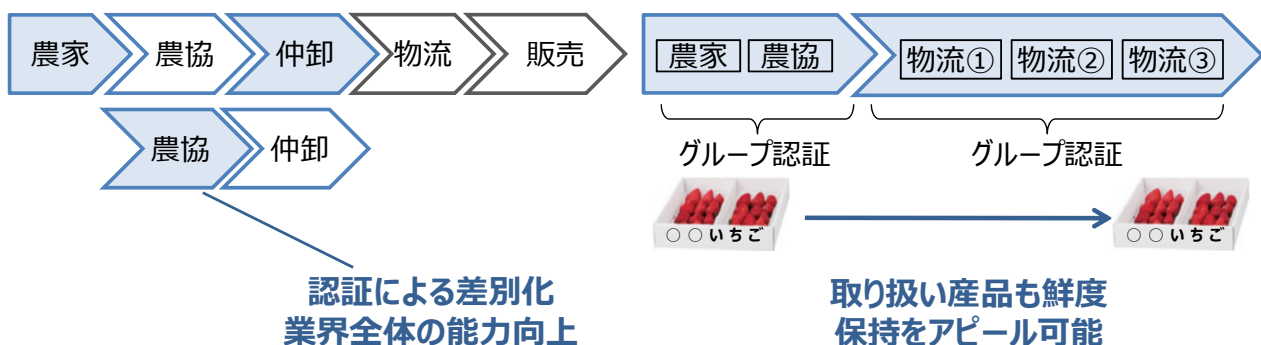
3-4 強みのアピールにつなげるアイデア③（運営・管理方式）

農林水産省
食料産業局

- 事業者の**生産や流通**の方式などをJAS規格化し、認証。その能力を有する事業者の優位性だけでなく、取り扱う商品も一定の管理がなされていることを消費者にアピール可能。
- 取引における事業者選択の目安にも。

●鮮度の高さをアピールしたい場合

- 鮮度を維持する定温保管・輸送等について、管理方式をJAS規格化し、能力を有する事業者を認証。
- 認証事業者が扱う商品についても、鮮度が維持されていることをアピール可能に。



Copyright 2016 Food Industry Affairs Bureau. Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

9

- 時間が経つと品質の変化が大きい生鮮品や生産に企業秘密の絡む産品などについて測定・分析方法をJAS規格化し、優位性を客観的に証明。
- ノウハウ等の企業や産地の秘密を守ったまま、特長をアピール可能に。

●養殖技術の高さをアピールしたい場合

- 我が国事業者が養殖魚の魚臭さを抑える独自の養殖方法を開発・工夫。
- 魚臭さ成分の統一的な測定・分析方法の確立・規格化により、魚臭さがないことを客観的に証明し、養殖技術の高さをアピール。

●品質・栽培技術の高さをアピールしたい場合

- 我が国事業者は、手間と時間を要するこだわりの栽培技術を開発・工夫。
- 統一的な測定・分析方法の規格化により糖度が増加することを客観的に証明。品質や栽培技術の高さをアピール。



一般養殖 1 1
天然 1
独自の養殖方法 1

魚臭さ成分の測定・分析方法

養殖技術の高さをアピール
「天然物と遜色なし！」
「安定供給を実現！！」



ほうれんそう
糖度：4
ルテイン：11

寒締めほうれんそう
糖度：10
ルテイン：14

統一的な測定方法

おいしさや技術の高さを根拠を示してアピール可能

4-1 国際的に通用するJAS認証とJASマーク表示

- 強みのアピールにつながる多様なJAS規格に対応し、①これらの規格への適合性を国際的に通用する手続により評価する枠組、②認証内容が分かりやすいJASマークを整備。

（１）国際的に通用する適合性評価手続の整備

- 産品間・事業者間のばらつきが大きい食品・農林水産品の特性を踏まえた第三者認証制度を整備。
- JAS規格の対象範囲の拡大に対応し、現行の第三者認証制度（登録認定機関制度）を拡充するとともに、測定・分析規格に適合する試験を行い得る試験所を大臣が登録する制度を創設。
- 第三者認証機関や試験所の登録基準として、ISOの基準を採用。併せて、審査実務を担うFAMICのIAF、ILACへの加盟も視野。
- さらに、JAS規格による適正な民間認証、自己認証等を推進。

※IAF・・・製品認証機関等の認定を行う機関の国際組織
ILAC・・・試験所等の認定を行う機関の国際組織

（２）認証内容が分かりやすいJASマーク表示

- 一見して認証内容が分かる標語をマークに表示。
- 今後、JAS規格が増大してもマークが認知されるようマークを整理統合。

4-2 認証内容が分かりやすいJASマーク表示

農林水産省
食料産業局

- JASマークについて、海外市場も含め、消費者が適切に商品選択できるよう、①一見して認証内容が分かる標語をマークに表示することとともに、②マークの認知を高めるため、マークの様式を統一。

1 標語の表示

- 一見して認証内容が分かるよう、規格ごとに、その内容を端的に表す標語を表示
- 海外市場向けも想定し、外国語（当面は英語）の標語も設定

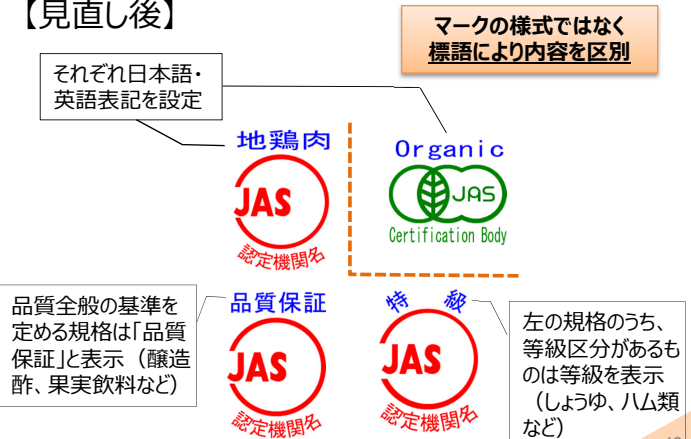
2 マークの統一

- マークの種類が多いと個々のプレゼンスが低下するため、規格の種類が増大するこの機会に、一般の認知度の高い、品質JASマーク（丸JAS）に統一
- ただし、有機JASマークにあっては、指定農林物資であることや、海外の認知度も高いことから、存置
- 特色製法JASマーク、情報公開JASマークを現に使用している事業者は、当面、併用可

【現行】



【見直し後】

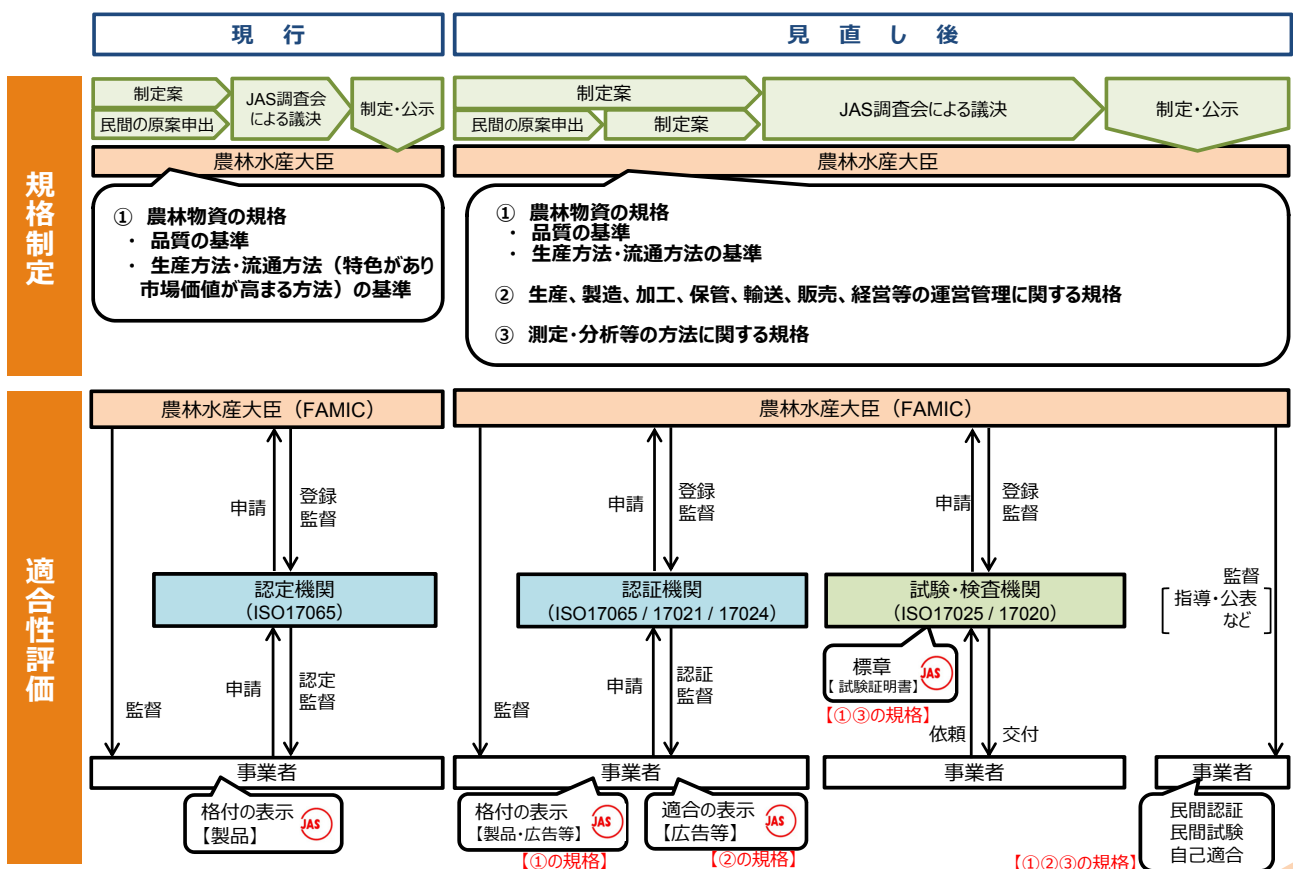


Copyright 2016 Food Industry Affairs Bureau. Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

12

5 新たなJAS制度のポイント（全体像）

農林水産省
食料産業局



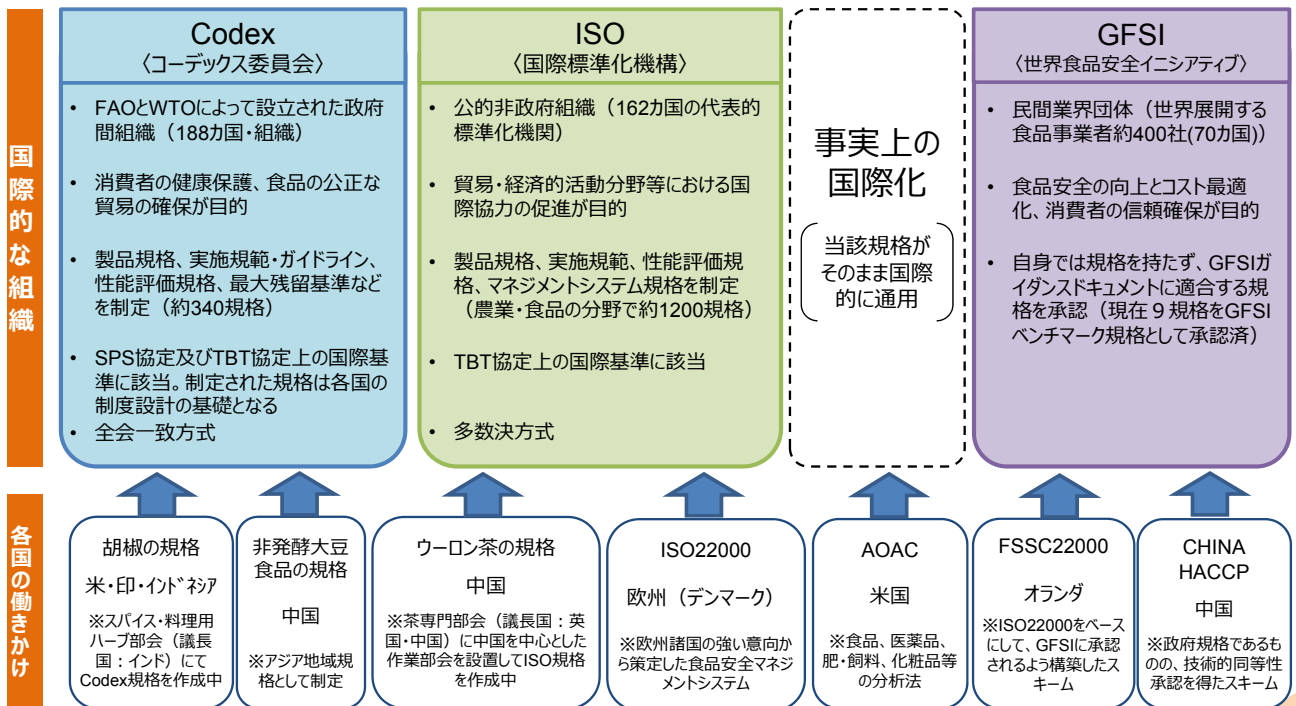
Copyright 2016 Food Industry Affairs Bureau. Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

13

(参考) 規格・認証をめぐる国際的な動向

農林水産省
食料産業局

- 各国では、多様な規格の制定と認証の取得を進め、海外との取引に活用するとともに、これらの国際規格化を推進。アジア地域では、中国主導により規格が構築される動き。
- 我が国も、各国に遅れることなく、競争力強化に向け、戦略的に規格・認証に対応することが重要。



Copyright 2016 Food Industry Affairs Bureau. Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

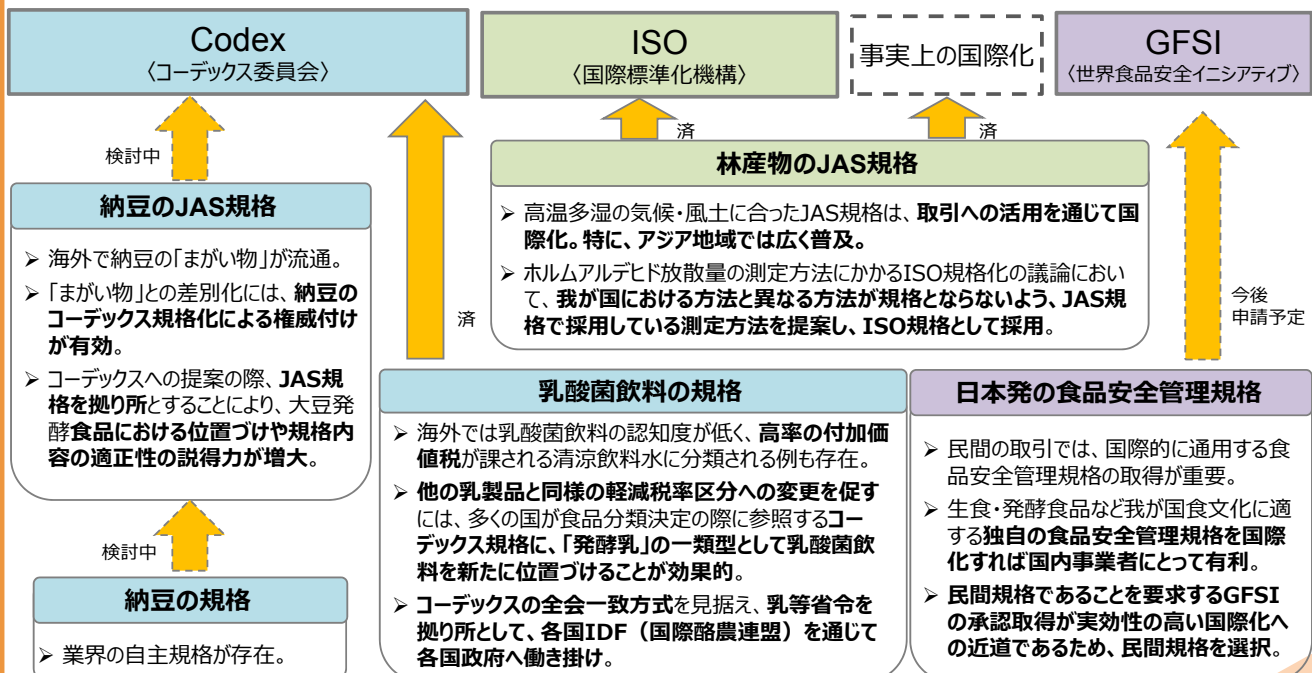
14

(参考) 規格・認証への戦略的対応

農林水産省
食料産業局

- 我が国も、国際規格化を見据え、我が国の事業者が取得し易く、取引に有利に働く規格の制定と認証の取得を進め、海外との取引に活用するとともに、こうした規格の制定を足掛かりとして国際規格の制定を目指す。
- 国際規格化を見据えた規格の制定に当たっては、競争力強化にとって最善のツールをそれぞれのケースごとに見極めながら (どの種類の規格・認証とするか、どの国際的枠組を使うか、どう公的枠組を使うかなど) 対応していくことが重要。

【戦略的対応イメージ】



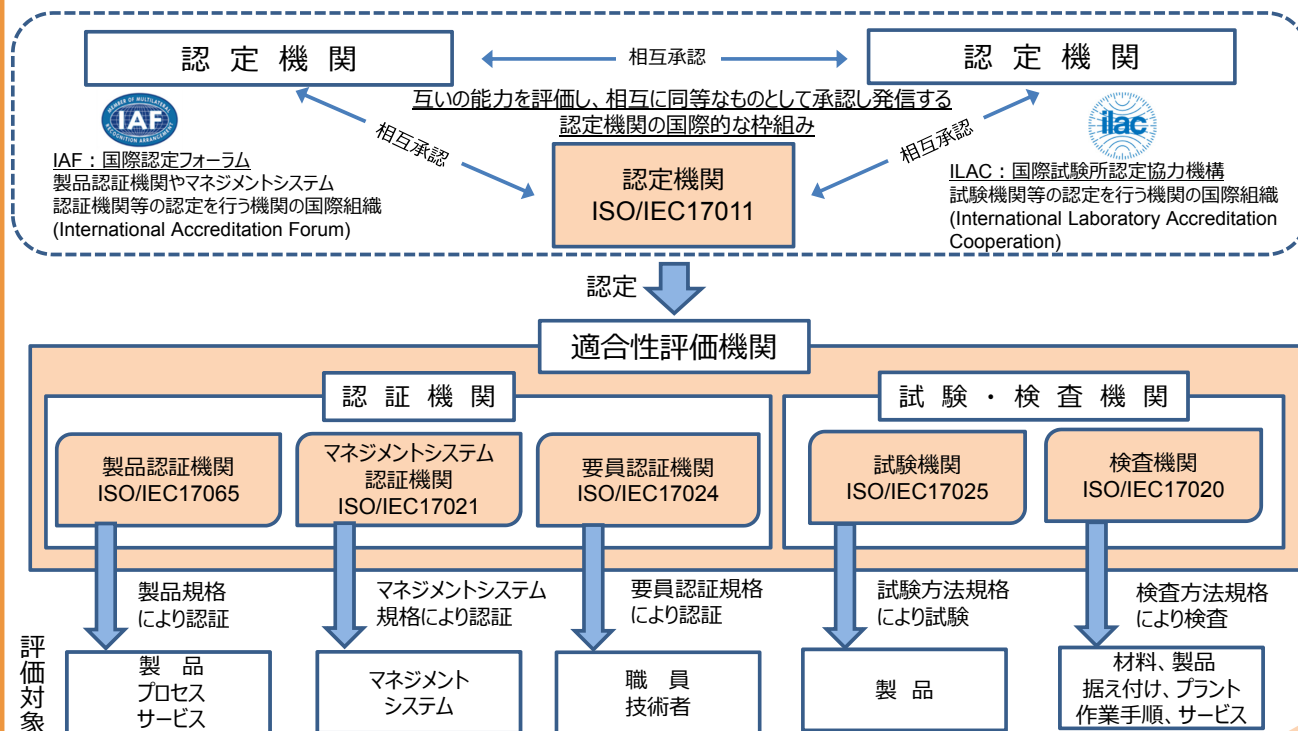
Copyright 2016 Food Industry Affairs Bureau. Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

15

(参考) 国際的に通用する適合性評価の手続

農林水産省
食料産業局

- 適合性評価（認証・試験）について、海外事業者の信頼を広く得るためには、国際的に通用する手続によって行われたものであることが重要。
- 適合性評価に関する国際標準化機構（ISO）の基準を採用するほか、IAF、ILACに参画することが有効。



Copyright 2016 Food Industry Affairs Bureau. Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

16

一般社団法人 全日本木材市場連盟
JAPAN WOOD MARKET FEDERATION

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル 6F

TEL 03-3818-2906 FAX 03-3818-2907

URL <http://www.zennichiren.com/> E-Mail zennichi22@gmail.com

一般社団法人 全国木材市売買方組合連盟

〒136-0082 東京都江東区新木場 2-1-8 東京木材市場株式会社内

TEL 03-6457-0688 FAX 03-6457-0689

URL <http://www.geocities.jp/zenbairn/> E-Mail jmmtn048@gmail.com

一般社団法人 全国木材組合連合会
Japan Federation of Wood-Industry Associations

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-4-3 永田町ビル 6F

TEL 03-3580-3215 FAX 03-3580-3226

URL <http://www.zenmoku.jp/> E-Mail info@zenmoku.jp